

ふるさとイキイキだよ!

白石市民へ向けて、観光や人、地域に根ざしている店、会社の情報を発信することで白石を知り、より好きになってもらいたい! という想いから作りました!

平成25年大晦日 白石城に鳴り響く除夜の鐘

12月31日(火)、白石城本丸内鐘堂にて、『除夜の鐘を鳴らす会』が開催されました。毎年行われているこのイベントは、参加者が順番に除夜の鐘を鳴らすことができるというもの。今年は260人が参加しました。大晦日の夜に108回突き鳴らす除夜の鐘。その数の由来は人間の煩惱の数といわれています。鐘の音を聞くことで1年分の穢れや煩惱を除き、清らかな心になって新しい年を迎えられるそうです。「お城に鐘堂なんて、どこにあるの?」という方もいるのではないのでしょうか。実は天守閣のすぐ横にある小さい小屋が鐘堂なんです! 鐘堂に入ると、目に入る鐘の大きさに圧倒されます。さらに鐘を突く木の棒、撞木(しゅもく)は重く、力を入れないと突き鳴らせません。力を込めすぎて、反動で二回も鐘を鳴らしそうになり慌てましたが、自分で鳴らした鐘の音は心にも大きく響き、心が洗われるような気がしました。

鐘堂そばのテントでは甘酒が振舞われ、寒空の下で冷え切った体をポカポカにしてくれました。甘酒好きのスタッフは、その美味しさにおかわり希望だったとか。本当に煩惱を除けたのか疑わしいスタッフを含め、多くの方が除夜の鐘を鳴らす会を訪れ、大賑わいで幕を閉じ、新年を迎えました。



賀正
平成26

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。
 ふるさとイキイキスタッフ 一同

『みやぎ蔵王白石スキー場』で銀世界を満喫しよう!

「笑顔があふれるのが自慢」のみやぎ蔵王白石スキー場が12月20日にオープン! この日は積雪70センチと初日からベストコンディション! 一面の銀世界のなか、山の神様へ今シーズンの安全を祈願し、白石市長がスキー場開きを宣言しました。



みやぎ蔵王白石スキー場は、多彩な6種類のコースを持つスキー場です。小さなお子さんやファミリーでも楽しめるキッズパークから、最大斜度38度の上級者コースまで、自分にあったコースを楽しむことができます。「安心して安全に銀世界を楽しんで、心身ともにリフレッシュしていただきたい」とスタッフの奥山さん。板やウェアなどのレンタルも充実していますので、手ぶらでもOK。気軽に楽しめるのがうれしいですね!



3月までの営業期間中は、ちびっこスキー教室や、冬の不忘山を歩くスノーウォッチング、それに初級者を対象としたイベントもたくさん予定していますので、雪山の魅力を楽しみたい方や、スキーにチャレンジしたい方は気軽にご予約を。

レストラン人気メニュー

豚汁 ¥350
 蔵王の高原大根を使い、具たくさんで旨味たっぷり。体を芯から温めてくれます。



住所 : 白石市福岡八宮字不忘山
 電話 : 0224-24-8111
 営業時間 : 8:30~16:30
 駐車場 : あり
 URL : <http://www.nposki.com/>



セレクトショップ ヤシマ

緑地公園から近い国道113号線沿いにオシャレな外観の「セレクトショップ ヤシマ」があります。1967年に呉服屋としてオープン。時の流れと共に婦人服を扱うセレクトショップとなりました。

「大人の女性の『可愛らしさ』『楽しさ』『明るさ』をコンセプトに洋服をセレクトし、質の良いものを揃えています」と3代目店主の八島京子さん。

お客様は白石を中心とした20代から70代くらいまでの幅広い年代の方々です。お客様からのリクエストに応じて、取り寄せやサイズの直しなどもしています。衣服だけではなくバッグや小物なども扱っていて、特に人気なのが靴下！ 入荷するとすぐに売り切れるのだとか。



「気軽に自由に入ってみて下さい。見て頂くだけでも大歓迎です！」と朗らかな笑顔の八島さん。実は、取材前に「ちょっと高級な雰囲気や敷居が高いかも」などと思っていましたが、入ってみるとサイズや色も豊富でリーズナブル。思わず自分に似合いそうなものを探してしまいました。

すでに春物が並び始めている店内は、明るく華やかなムードです。この春のトレンドを聞いてみると、綿・麻素材の明るめの色や小花柄とのこと。

1月中はセールをしていて、冬物が30%～50%OFF！ 買い逃してしまったコートやジャケットなど、この機会に手に取ってみたいいかがでしょうか！



住所：白石市西益岡町 2-10
電話：0224-26-3305
定休日：水曜日
営業時間：10:00～19:00



きく文

きく文は、宮城の伝統こけしや、白石和紙製品などを扱う土産物屋。白石駅のすぐそばにある、白い壁と鮮やかな水色のひさが目印です。2代目店主の菊地賢司さんと、奥さんの節子さん夫婦でお店を切り盛りしています。



お店の人気商品

こけし



「同じ工人(どうじん)さんが制作したこけしでも、年々顔が変化していってます。毎日描いている工人さんは気付かないかもしれませんが、毎年購入しているファンは気付きます。『前年とは目が違うな』など、違いを探したりするのもこけしの面白さの1つ』とのこと。ちなみに木製のこけしは、乾燥すると割れてしまうので、暖房の風に直接当たらないように注意が必要だそうです。

白石和紙



名刺入れや印鑑ケースなど、実用性に富んだものが多い和紙商品。きく文では、珍しい無地の和紙も販売しています。こちらは絵や書の紙として、また、最近ひそかなブームとなっている神社の朱印集めの台紙など、楽しみ方は多種多様。「現在は紙すき工房が一軒しかない。後継者が少なくなっているんです」と寂しそうな菊地さん。地元の人にこそ、もっと白石の名産品を知ってほしいそうです。

店内には、こけしに関する研究資料が多数、参考品として置いてあります。中でも、昭和17年に発行された資料の原本が綺麗な状態で残っているんです。外箱も含めて、材質はなんと白石和紙！ この資料は現存数が少なく、とても貴重なんだとか。きく文では他にも干支の置物や、白石うめんなども取り扱っています。

皆さんもお気に入りの名産品をさがしに行ってみてはいかがでしょうか？



住所：白石市字沢目8-6
電話：0224-26-2600
定休日：不定休
営業時間：9:30～19:00

SHIROISHI NEWS



白石の様々なニュースをお届け！

豆まき大会

元氣いっぱいの子供たちが、今年も豆まきで鬼退治！ 白石に福を呼び込みます。

日時：1月31日(金)午前
※開始時間未定
場所：すまいる広場
問合せ：白石まちづくり
電話：0224-25-6054



感想・情報をお待ちしています

①住所 ②氏名 ③年代 ④職業 ⑤電話番号 ⑥入手場所 ⑦感想
〒989-0257
白石市字互理町37番地3 白石市情報センター3F
「ふるさといきいきだより50号」宛

お知らせを載せたい方は
気軽に連絡してね!!!



「Sコミ」白石地域振興PRサイト
<http://www.pichi-shiroishi.jp>

紙面に掲載しきれない白石の情報がぎゅっしり詰まっています。
随時更新中!! あそびに来てね!! Sコミ 印刷
TEL: 0224-22-1281 FAX: 0224-22-1282

※本報からいただいた個人情報は読者の承諾を得ることなく、当社の関係会社・提携の機関およびその第三者には提供いたしません。※今年などはより期間が長くなる場合があります。